

## 急な話ですが副校長が代わります

新年度がスタートしてようやく2週間、本校の教育活動も、何とか前に進み始めたところなのですが、この5月早々に、副校長が交代することになりました。

宮内敬子副校長が他区（中野区立谷戸小学校）の校長に昇任することになったための交代です。後任は、関田秀行副校長が、武蔵野市立本宿小学校から着任します。主幹教諭からの昇任です。

宮内副校長は、本校に副校長として6年1ヶ月勤務し、学校の顔としてあらゆる場面で対応や調整にあたってきました。授業をもっていただけではないので、直接児童に指導（授業）はしていませんが、児童のこともよく把握し、陰に日向にかかわりを持ってきています。学校のことは、隅から隅まですべて把握しているのが宮内副校長のすごさです。そんな宮内副校長が、年度の途中で（しかも校長が代わって1ヶ月のところ）異動してしまうことは、実は学校にとっては正直なところ大きな痛手です。「おや？学校は大丈夫か？」と保護者や地域のみなさまを不安にさせるようなことがあってはいけないと、今から気を引き締めています。校長としては本当につらいのですが、都内に校長が不在の学校があり、そこに求められていくのですから、私としては喜んで送り出さなければならぬと、腹をくくったところです。5月からは、滝淵と関野秀行新副校長の体制で進めます。



以下、宮内敬子副校長からみなさまへのメッセージを掲載いたします。

旅立ちます

6年と1カ月前の春、桜が満開の中で立会小学校に着任しました。校庭の花々と新緑がまぶしく、礼儀正しい児童の挨拶に感動し、この子どもたちを大切に育てようと決意しました。

子育ては、これだけやれば大丈夫という100点の答えはありません。様々な出来事の中で喜び、悩み、心配し、安心し、という場面の繰り返しです。教員も同じように日々、喜び、悩み、教員としての成長をしています。保護者や地域の皆様、教職員が共に助け合って、子どものことをみんなで考え、解決していこうとしている学校が立会小学校です。その中で、副校長として働けたことをとても感謝しております。90周年記念式典や運動会などの行事を成功させ、保護者の皆様と共に乗り越えた感動を涙しながら讃え合ったことも昨日のことにように思い出されます。区内一斉防災訓練では、地域の町会の方々の防災への熱い意識を知りました。また、個性的な4人の校長先生より多くのことを学ばせていただきました。立会小学校での経験は、私の財産です。温かい家族のような立会小学校を離れるのはとても淋しいですが、卒業生と同じように、私も旅立ちます。次の副校長、関田秀行も私が着任したときと同じ、新任副校長です。皆様で育てていただきますよう、よろしく申し上げます。

皆様、たくさんの思い出をありがとうございました。

副校長 宮内敬子